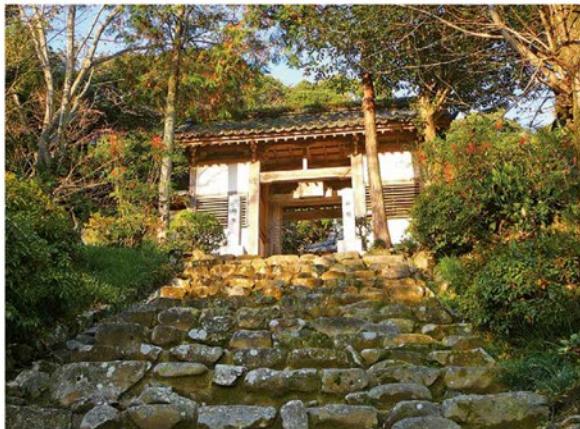


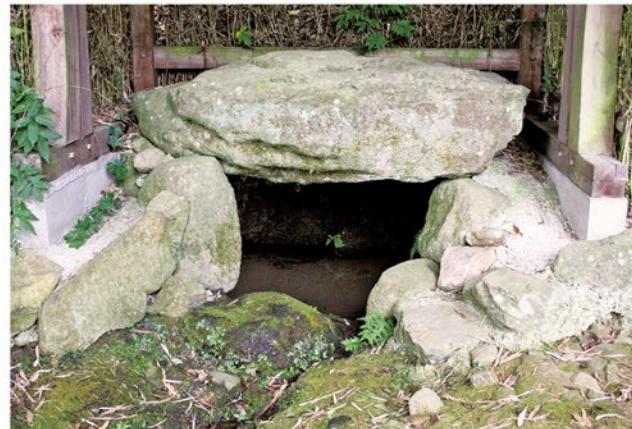
しゃきょう 写経

ほとけさま きょう
仏様の教えであるお経を書き写すことを「写経」といいます。これも修行のひとつです。求菩提
やまぶし くぼて
の山伏たちが写経をする場所は如法寺（豊前市大字山内）でした。写経に使うための水（写経水）
ねほうじ ふせんしおあざやまうち
をくむ場所が、今でも残っています。



如法寺

求菩提山と関係が深く、山門には仁王像が安置
されています。



写経水

かいだん 廻檀

修行の合間に、山伏たちは九州から山口の家々をまわり、お祈
りをしたり、心配事の相談にのつたり、薬を渡したりしていました。
これを「廻檀」といいます。そのお礼として米などをいただき、山
伏たちは生活することができました。



呪符

さいなん ふせ こううん
災難を防ぎ、幸運をもたらすお守りのお札。
廻檀のときに山伏たちが村の人々に渡していました。



山伏たちが使った薬草



作った薬を包んだ袋



袋を作るための版木